

令和8年4月15日

着地型体験プログラム「もっと姫路たび」企画・運營業務に関する質問に対する回答書

No.	質問事項	回答
1	<p>(1)プログラム開発</p> <p>プログラム内の体験にかかる経費（食事や見学料）は、参加費収入で回収できる設定にすることが基本と理解している。ただし、特別プランの開発にあたり、会場費等の大きな固定費が発生する場合、当該経費を事業費に計上することは可能か。</p> <p>また、参加費での回収が困難で事業費への計上も認められない場合は、そのようなプログラムの開発自体ができないという認識でよいか。</p>	<p>特別プランの固定費（下記の全額ではなく一部を指す）とは、姫路城のアーリーイン・レイトアウトに係る案内人の人件費、和船のチャーター費、謎解きの印刷費等を指すものとする。</p> <p>プログラム内容は未定であるが、当該経費を事業費に計上することは不可とし、プログラムにかかる経費は全て参加費収入、つまりプログラムの販売額へ積算するものとする。</p> <p>参加費での回収が困難な場合は、ビューローと協議するものとする。</p>
2	<p>(4)プロモーション オ</p> <p>「ちょっと姫路たび」の情報調査について、調査後の情報をひめのみちHP上で更新する作業は受託者が行うことになるか、もしくは貴局にて対応されるのか。</p>	<p>ひめのみちHPの更新作業については、ビューローが作業するものとする。</p>
3	<p>(2)プログラム販売 ア</p> <p>一部のプログラムにおいて JTB Bokun を使わずに、別の販売チャンネルのみで販売することは可能でしょうか。</p>	<p>別の1つの販売チャンネルのみで販売することは不可とする。ひめのみちHPを介してのBokunでの販売チャンネルを基本とし、追加で他の効果的な販売チャンネルを提案すること。</p>
4	<p>(1)プログラム開発・(3)プログラム催行</p> <p>昨年度の開発プログラム・催行プログラム及び催行状況をお教えいただけますでしょうか。</p>	<p>昨年度に開発した新規プログラムは11プログラムの中で継続のもの（8月坊勢島・漁業観光船、12月レザークラフト体験）を除く9プログラム。</p> <p>ひめのみちHP・「もっと姫路たび」(<a href="https://www.himeji-kanko.jp/tour/">https://www.himeji-kanko.jp/tour/</a>)を参照すること。</p> <p>募集したが最少催行に満たず催行できなかったプログラムは11月瀬戸内国際芸術祭。</p>

5	<p>(1)プログラム開発 ウ ひめのみちで下記のプランを販売されているのですが、他市町の観光地を入れてもよろしいでしょうか。</p> <p>ひめのみちで※終了 【春休み親子向け】 ノーベル化学賞受賞者も研究した大型放射光施設 SPring-8 (スプリングエイト) 特別見学ツアー ～日本最大級 姫路科学館のプラネタリウム鑑賞付き～、</p>	<p>通年のプログラムとして姫路市に隣接した姫路市外のコンテンツを活用する可能性はあるが、提案時には姫路市内のコンテンツでの提案に限定する。</p>
6	<p>(2)プログラム販売 ウ 昨年の要求水準書には、販売価格の 20%以下を受託者の収益として認めることとする。但し、内訳を提出すること。とありますが、今回はそのような定めはございませんでしょうか。</p>	<p>販売価格の内訳の提示はプログラムの販売ごとに求めるものとする。受託者の収益については、受託後にビューローと協議するものとする。</p>
7	<p>(1)プログラム開発 昨年度のインバウンド向けを対象にした商品と販売チャネルをお教えいただけますでしょうか。</p>	<p>プログラムは2月寿司握り体験・酒蔵見学、活用した販売チャネルはKKday。</p>